

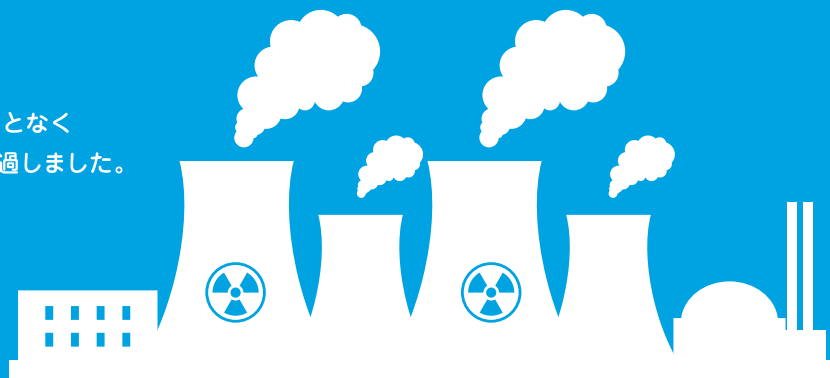
トーク&ワークショップ

「どうする、原発」

二人のゲストを招いて、異なる意見を聞く・話す・考える230分。

- 講演「原発ゼロで日本経済は再生する」吉原 毅(城南信用金庫理事長)
- 講演「リアルでポジティブな原発のたたみ方」橋川 武郎(一橋大学大学院教授)
- ワークショップ「どうする、原発」

原発は必要か、不要か。多様な主張が十分に提示されることなく国民的な議論や合意がないまま事故から3年半以上が経過しました。原発の是非をめぐる激しく対立するだけではなく多様な意見を知り、話し合い、考える機会を増やしたい。そんな思いから、今回2人のゲストをお招きします。話を聞くだけではなく、ワークショップの時間をもち、参加者が主体的に考え、発言する機会を設けます。



吉原 毅 (よしわら つよし)
城南信用金庫理事長
1955年生まれ。東京都出身。慶應義塾大学経済学部卒。1977年城南信用金庫入職。1995年理事・企画部長、1996年常務理事。懸賞金付定期預金など新商品開発などに従事。その後、常務理事・市場本部長、事務本部長、業務本部長、副理事長を歴任し、2010年より現職。著書：「信用金庫の力」(岩波ブックレット)、「城南信用金庫の『脱原発』宣言」(クレヨンハウス・ブックレット)、「原発ゼロで日本経済は再生する」(角川学芸出版)。
危険でコストが高い原発はただちにゼロにして、新産業の幕開けて景気・雇用を拡大すべきと主張。



橋川 武郎 (きっかわ たけお)
一橋大学大学院商学研究科教授
1951年生まれ。和歌山県出身。東京大学経済学部卒。東京大学大学院を経て、青山学院大学経営学部助教授、ハーバード大学ビジネススクール 客員研究員、東京大学社会科学研究所教授などを歴任し、2007年より現職。総合資源エネルギー調査会委員。経営史学会会長。著書：「日本電力業発展のダイナミズム」(名古屋大学出版会)、「原子力発電をどうするか」(名古屋大学出版会)、「東京電力 失敗の本質」(東洋経済新報社)、「電力改革」(講談社)、「日本のエネルギー問題」(NTT出版)など。
原子力は過渡的なエネルギーとしつつも、現実的でリアルなアプローチで原発を「たたむ」べきと主張。

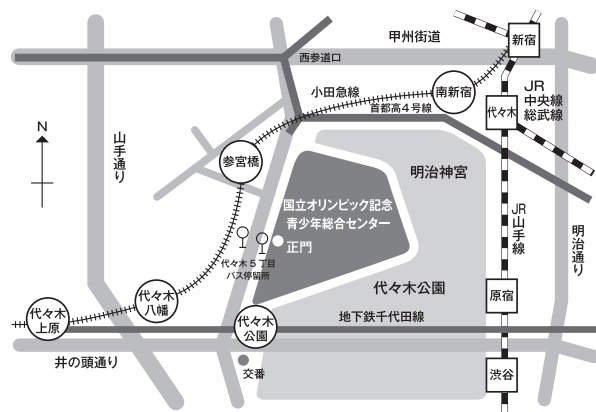
●日時: **10月18日(土)**

開場14:00 開演14:30 終了予定18:20

●会場: **国立オリンピック記念青少年総合センター
国際交流棟 第1ミーティングルーム**
東京都渋谷区代々木神園町3-1 (小田急線・参宮橋駅・徒歩約7分)
Tel.: 03-3469-2525

●参加費: **事前申込み1,000円、当日1,200円**

●申込み: **E-mail: info@kokumintohyo.com**
氏名・メールアドレスを記載し、件名を「1018イベント申込み」としてください。



みんなで決めよう

「原発」国民投票



●市民グループ
みんなで決めよう「原発」国民投票
<http://kokumintohyo.com/>
112-0005 東京都文京区水道2-11-7 第3毛木ビル2階
TEL & FAX: 03-6902-9775